

# 厚生文教常任委員会

令和元年7月22日～24日  
千葉県鴨川市・茨城県守谷市

**守** 谷市では、保幼小中高一貫教育きらめきプロジェクトの取り組みを視察。

守谷市は、市の予算総額の20%を教育に使うなど、教育に非常に力を入れていました。電子黒板やタブレット、ICT指導員配置などのICT教育の充実はもちろん、市の独自予算による学習支援ティーチャー配置、外国語指導助手ALTを全校配置するなどの充実した環境整備を行ったうえで、新しい時代をたくましく生きぬく人づくりを実現するために、保幼小中高で一貫した5つのプランを策定し、そのプランに基づき児童生徒の将来を見通した連続性のあるきめ細やかな指導を設置者の異なる学校間や家庭・地域が連携して行うことで、多大な成果を出していました。



守谷市視察の様子

# 産業建設常任委員会

令和元年7月22日～24日  
山口県萩市・長崎県松浦市

**萩** 市ではジオパーク推進事業の取り組みを視察。

萩ジオパークは平成30年9月20日にジオパークの認定を受け、構成範囲としては、阿武町・山口市の阿東地域の2市1町であります。ジオパーク推進協議会は本年度より体制を一新し29団体で構成され、官民一体となった取り組みを進めているところでした。

萩ジオパークの成り立ちについては、約1億年前からの3つの特徴的なマグマ活動により形成されました。マグマの活動によって出来た地形・地質を見極めた人々がそこに産業を作り、江戸時代には城下町ができ、維新へと続いていきました。萩ジオパークのテーマは「維新とマグマの胎動の地」と題して活動を進めていくとのことでした。



城下町を視察



萩市

**松** 浦市では、耕作放棄地発生防止・解消活動の取り組みを視察。

平成20年度に実施した、耕作放棄地全体調査に基づき、耕作放棄地のデータベースを構築しました。独自のGIS（地図情報システム）を導入し、平成21年度から耕作放棄地のデータベースと農地台帳情報をGISに反映させ、その情報をもとに、認定農業者をはじめとする担い手農家を中心にマッチング会を開催しました。

また全農家を対象とした利用意向調査や、農業委員が農地情報を反映させた航空写真（下段の写真）を元に全農地確認を実施した結果、遊休農地も含めて担い手農家への農地集積が進み、耕作放棄地が減少したそうです。



農地情報が入った地図



松浦市

## 視察を受け入れ

新潟県見附市

5月16日に新潟県見附市議会の皆さんが、インキュベーションファーム（新規就農者技術習得研修施設）事業をはじめとした農業振興の取り組みを視察しました。説明後は質疑や意見交換など、活発に行われました。



視察の様子

## 新体制で委員会活動始まる

5月21日の臨時会で、委員会の構成が変わった後、各委員会で早速委員会活動が行われました。

5月30日～6月3日までの間に、各常任委員会が担当する各課の概要や重点事業など各課長から説明を受け、活発に質疑を行い調査をしました。



総務常任委員会



産業建設常任委員会



厚生文教常任委員会